

平成30年12月27日

二宮町教育委員会会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 9時 30分

2. 閉会時間 11時 45分

3. 教育長名 森 英夫

4. 署名委員 山内 みどり

5. 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	原 道子
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	山内 みどり
○	教育委員	渡辺 優子

6. 出席者氏名
教育部長 志賀 道郎
教育総務課長 小笠原 純二
生涯学習課長 小島 孝紀
教育総務課教育総務班長 竹本 直昭
教育総務課教育総務班副主幹 生井 幸子
教育総務課指導班長 寺口 瑞紀
教育総務課指導班主幹 永井 貴幸
教育総務課指導班主幹 境野 朋美

7. 傍聴者 4名

8. 調製者 教育総務課教育総務班副主幹 生井 幸子

平成30年度12月教育委員会定例会会議録

日 時 平成30年12月27日（木）
午前9時30分より
場 所 町民センター3Bクラブ室

1. 開会宣言

（教育長） 平成30年度12月定例教育委員会議を開催します。

ー 森教育長より就任挨拶 ー

2. 署名委員の指名

山内委員を指名する。

3. 教育長事務報告

（教育部長） 教育長事務報告、政策会議報告を資料に基づいて説明。

（各課長） 各課の事業報告・事業予定について資料に基づいて説明。

- （岡野委員） 12月8日土曜日、二宮町PTA5校合同事業の講演会についてです。講師には、浦安市のテーマパークにお勤めの方をお招きしました。PTA行事参加への取り組みや広報活動は引き続き進めたいと考えていますが、町の支援をお願いしたいと思います。
- （原委員） 11月30日金曜日の教育支援室の取り組みを詳しく教えてください。
- （教育部長） 教育支援室の通室生に、自然体験をしてもらおうという取り組みとして、にのみや子ども自然塾と協力して行われたものです。様子を見に伺ったところ、焼き芋作りなど自然体験をされていました。
- （渡辺委員） 自然塾スタッフとして参加しました。親子3組の方が参加し、焚き火やバトミントン、焼き芋作り体験を行いました。子ども達も、保護者の皆さんも喜ばれている様子でした。
- （山内委員） 今回は、にのみや子ども自然塾さんからの申し出により、開催された様子ですが、他の方からの申し出があった場合は、受け入れていただけるのでしょうか。
- （教育総務課長） 今回は、実績のある団体からの申し出ということもあり試行的な取り組みとして行いました。他の団体等から申し出をいただいた時には、お申し出の内

容や子ども達の状況を踏まえて検討していきたいと考えています。

- (原委員) 今回の事業が有意義な取り組みでしたので、今後、教育支援室の運営、活動の参考、きっかけになれば良いと思います。
- (山内委員) P T A合同事業ですが、町広報掲示板でポスターを拝見しましたが、せっかく良い取り組みのようでしたので、大きくPRされても良かったのではありませんか。
- (岡野委員) 企業名等の掲載を周知に用いることが難しい状況がある中で、ポスター掲示等では、あのような表現、表記になりました。
- (原委員) 継走大会ですが、今年はゴールの瞬間を皆さんで応援できて良かったと思います。

5. 報告・協議事項

(1) 新春のつどい、自治功労、教育委員会表彰式について

(教育総務班長) 新春のつどい、自治功労、教育委員会表彰式について、資料に基づいて説明。第2部については、当日司会の山内委員からご案内いただいた。

(2) 小中一貫教育校推進研究会について

(永井指導班主幹) 小中一貫教育校推進研究会について、資料に基づいて説明。

- (岡野委員) 小中一貫と統廃合を切り分けて議論を深めるべきだと感じています。小中一貫教育については、小中のギャップ、段差解消と9歳差のメリットを研究すべきです。子ども、教員、保護者、地域の4つの視点をもって考えていくべきかと考えていますが、いかがでしょうか。
- (教育部長) 研究会において、2月まで研究を進めていただいている所ですので、いただいたご意見は、研究内容を取りまとめ、教育委員会としての素案を作る中で、検討して取り組んでいただきたいと思います。
- (原委員) 研究会を傍聴しました。小中一貫教育について、一体型と分離型の議論をされていました。今後、教育委員会で取り組みを進めるにあたっては、昨年度の検討会、今年度の研究会の内容を十分に確認し、考えていきたいと思っています。
- (教育長) 様々な課題がある中で、二宮町の教育の魅力を発信していく必要を感じています。子育て世代にとっては、教育というのは大きな関心あるところ。小中一貫の研究をしっかりと進めていきたいと考えています。その上で、施設面の老朽化なども現実にはありますので、併せて考えながら取り組んでいきたいと考えています。
- (教育部長) 研究内容や素案作りにあたり、教育委員の皆様には詳しい報告や説明をさせていただきながら取り組みを進めてまいります。

(3) 平成30年度第2回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について

(境野指導班主幹) 平成30年度第2回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について、資料に基づいて説明。

- (岡野委員) 学習指導要領改訂に向けた各校の取り組みはいかがでしょうか。
- (境野指導班主幹) 小学校では各校内で教科授業研究を進めています。中学校においては、小学校と連携した取り組みに手を付け始めたところです。次年度においては、教育委員会においても研修を開催するなど、学校現場と連携して、プログラミング教育の意義と教材研究の両面について取り組んでまいります。
- (山内委員) 来年度はどのようなテーマで開催する予定でしょうか。
- (境野指導班主幹) テーマの詳細は検討を進めている所ですが、従来のコンセプトを踏まえて、教職員、保護者、地域等、多くの方に参加いただける内容にしていきたいと考えています。

(4) 働き方改革について

(教育総務課長) 働き方改革について、資料に基づいて説明。

- (原委員) 試行を行った中で、どのようなご意見がありましたでしょうか。留守番電話導入によるご意見や、部活動の取り組みへの教職員の反応はいかがでしょうか。
- (教育総務長) まず、学校閉庁日の取り組みについては、日直業務がなくなったことで、負担の減少に繋がったと報告がありました。留守番電話については、当初は影響を懸念する声がありましたが、実施によって、授業研究等にじっくり取り組むことができたようです。携帯電話については、緊急での連絡はなかったと報告がありました。また、部活動については、様々な意見があると予想されますが、ガイドランを策定するにあたっては、現場の教職員にも参加いただいて検討していきたいと考えています。今後については、出退勤の管理についても検討していきたいと思えます。
- (渡辺委員) 試行を続けるということですが、保護者としても、働き方改革を進め、気持ちに余裕をもって子どもたちに向き合えるように取り組んでいただきたいと思います。

(5) その他

— 次回教育委員会予定 —

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事等についてを説明。

○(渡辺委員) 先日、新庁舎の第1回検討会があり、教育委員として出席しました。会議は資料説明と内容確認の質疑が中心でした。先ほど教育支援室の活動のお話もありましたが、第2回以降の検討会で確認をしていきたいと思います。

11時 45分 閉会